

ぎふ感染症かわら版

令和7年9月18日 岐阜県感染症情報センター（岐阜県保健環境研究所）



9月24日～9月30日は「結核・呼吸器感染症予防週間」です！

結核は決して過去の病気ではなく、今でも全国で毎年 10,000 人以上の患者が発生し、1,400 人以上の方が命を落としています。この機会に、結核について正しい知識を身につけ、患者数が今後減少するよう早期発見と感染予防にご協力をお願いします。

結核とは？

結核は、結核菌の感染によって起こる感染症です。主に肺の内部で増えるため、咳、痰、発熱、呼吸困難等、風邪のような症状を呈することが多いですが、肺以外の臓器が冒されることもあり、腎臓、リンパ節、骨、脳など身体のあらゆる部分に影響が及ぶことがあります。

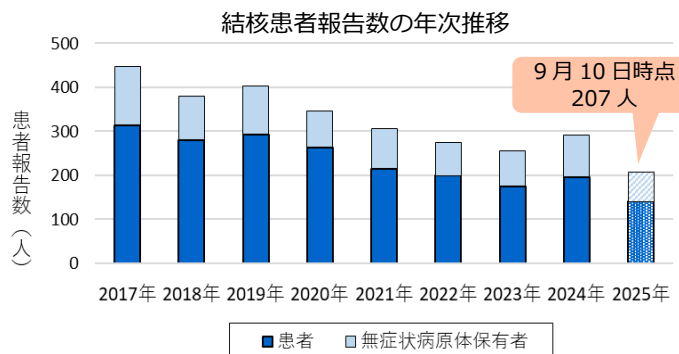


岐阜県の感染状況

（１）患者報告数

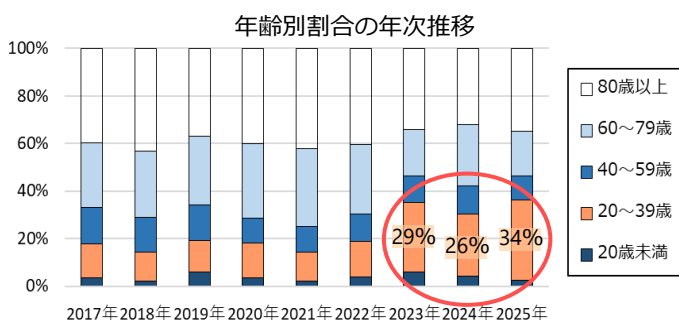
岐阜県の患者報告数は減少傾向ですが、近年でも年間 200～300 人の報告があります。

今年度も 9 月 10 日時点で 200 人を超え、2024 年と同じペースで報告されています。



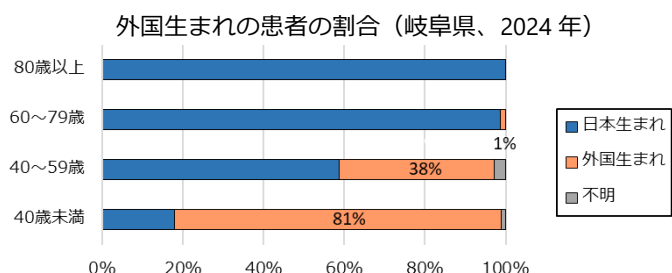
（２）患者の年齢別割合の変化

これまでは 60 歳以上が全体の 6 割以上を占めていました。しかし 2023 年以降は若い世代が増加し、20～39 歳がほぼ 3 割となっています。



（３）外国生まれの患者の増加

近年、結核まん延国から留学生や技能実習生として来日する人が増加し、外国出身者の結核患者の割合が特に若い世代で増えています。日本で健康診断を受ける機会が少なく、発見が遅れて集団発生事例となることもあります。



（感染症発生動向調査）

結核のまん延を防ぐために

結核のまん延を防ぐためには、早期発見が何より大切です。たんのからむ咳や、微熱やだるさが2週間以上続くときは早めに医療機関を受診しましょう。

症状がなくても、学校や職場、地域の定期健康診断をきちんと受けましょう。早期に発見することができれば、**本人の重症化が防げるだけでなく、大切な家族や友人などへの感染の拡大を防ぐことができます。**

結核に関する Q&A

どうやって感染するの？

重症の結核患者の咳などで結核菌が飛び散り、周りの人がそれを吸い込むことで感染します。感染源となるのは、結核を発病している人のうちたんの中に菌を出している重症の患者です。

感染したらみんな発病するの？

感染しても必ず発病するわけではなく、多くの場合は免疫力により結核菌の増殖が抑えられ、休眠状態になります。

しかし、免疫力が低い状態で感染した場合などは、2年以内に発病します。

また、感染後すぐに発病しなくても、年月がたって免疫力が低下したときに、休眠状態の結核菌が再び活動を始め、発病することがあります。

結核は治るの？

結核と診断されても、薬をきちんと飲めば治ります※。治療期間は6～9か月ほどです。しかし、薬を途中でやめてしまうと、結核菌が薬に対して抵抗力をつけ、薬の効かない結核菌（耐性菌）になってしまうことがあります。

また、結核を発病していなくても感染していることがわかった場合は発病を防ぐために服薬治療を行います。

※治療費用は公費の助成が受けられます。

主な結核の症状

- ・咳・たんが長引く
- ・微熱が続く
- ・胸が痛い
- ・体重が減る
- ・体がだるい



入国前スクリーニングが始まりました

我が国における結核患者数が多い国の国籍を有する者のうち、我が国に中長期間在留しようとする者に対し、入国前に結核を発病していないことを証明する資料の提出が求められるようになりました。

対象となるのは、フィリピン、ベトナム、インドネシア、ネパール、ミャンマー及び中国からの入国・在留者です。2025年9月現在、フィリピン、ベトナム、ネパールについて開始されています。そのほかの3か国についても、相手国との調整ができ次第開始される予定です。

【参考】厚生労働省 入国前スクリーニング特設サイト

<https://jpets.mhlw.go.jp/jp/>



保育所や幼稚園、高齢者施設など、希望される施設に対して「ぎふ感染症かわら版」のメール配信もおこなっています。くわしくは岐阜県感染症情報センターホームページをご覧ください。

岐阜県感染症情報センター

